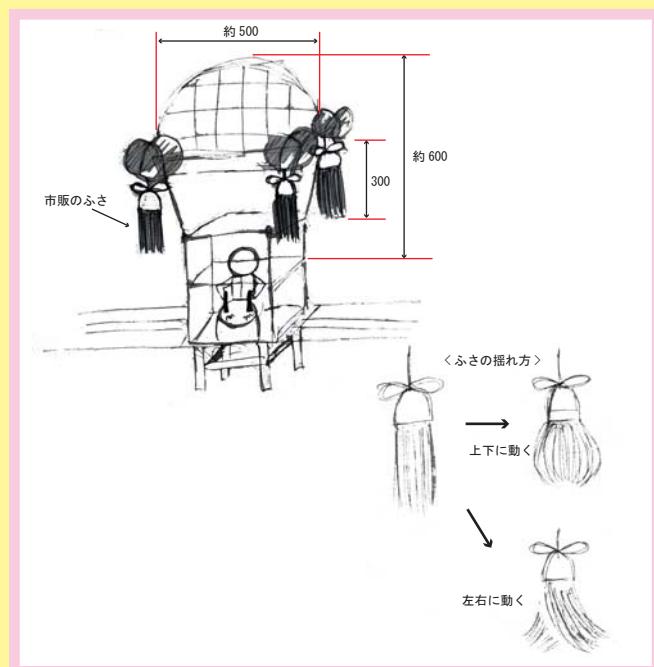


## 『太鼓の達人』

新居浜工業高等専門学校 機械工学科3年 石川 誠二

新居浜といつたら、まず浮かんだのが新居浜太鼓祭りだった。といつても、ただ漠然と太鼓台を作ってもダメだと思った。それで思いついたのが、小さい頃にあった太鼓をたたくオモチャだったので、これにした。これは、棒を持ったロボが太鼓をたたくというもので、たたくと音が鳴るというもの。肩だけが動いて左右交互にたたくようにする。



## 『かきくら兵衛』

新居浜工業高等専門学校 機械工学科5年

山内 優子・上岡 勇輝・谷脇 充浩

新居浜祭（太鼓台）が好きで、かきくらべの時に綺麗にふさが割れているのを見て、年中ふさが割れているのをみたいと思ったから。新居浜市の欠かせない祭の太鼓台のミニチュア！

かきくらべをリアルに再現！

誰もが注目するロボットになると思います。

機能：太鼓をたたくロボットのリズムによって、ふさの動きが変わる。

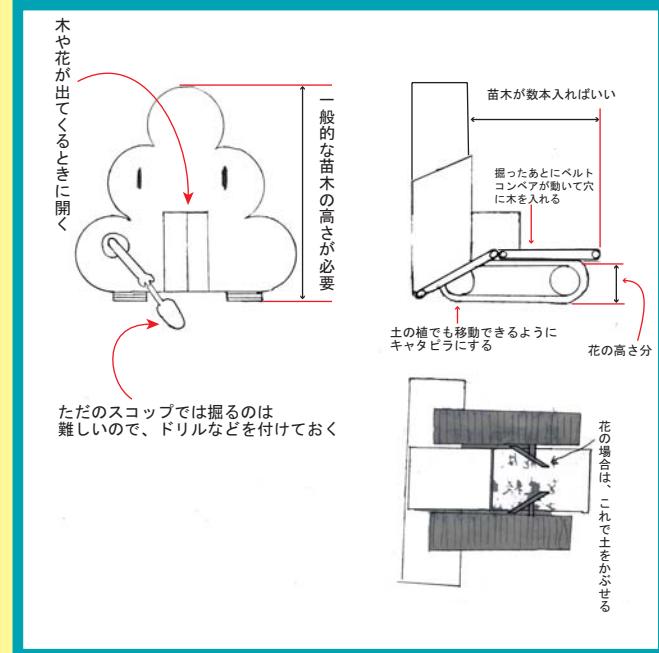
<太鼓の打ち方>

・基本

「ドン・デン・ドン、(空白)」の四拍子

・はや太鼓

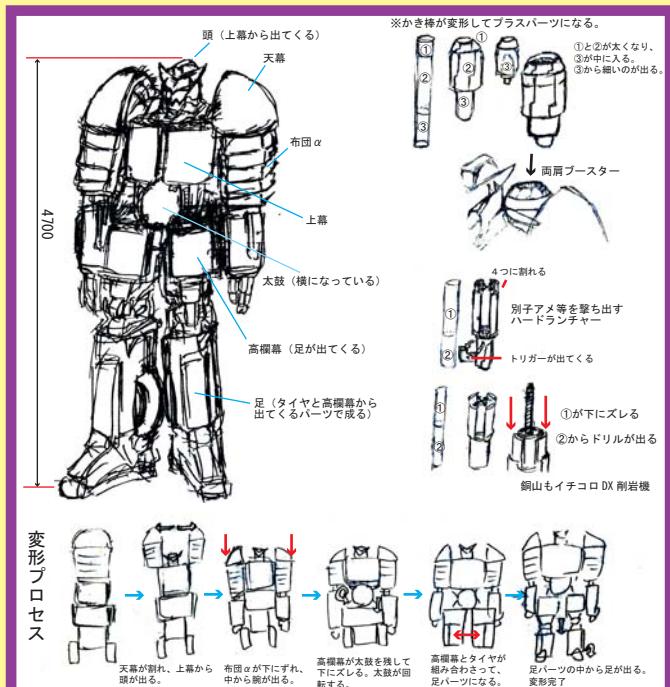
基本の打ち方が速くなる。



## 『植ニン』

新居浜工業高等専門学校 機械工学科3年 加地 智広

町には、建物だけではなくて、緑も大切になってくる。木や草といった緑があれば、車の排気ガスも浄化され、新鮮な空気によって住みやすくなり、市外から来るにも良い印象を与えることができる。新居浜市は、化学（科学）の町とも言われているが、それに関連した工場は、空気に関してはどうしても人々に悪い影響を与えてしまう。そういういたイメージをなくすためには、空気を浄化するのが一番だと考えた。そのためには、緑の少ない市街で植林をすればいいと思い、このアイデアに至った。機能は、ロボットがスコップを使って土を掘り、その穴に木や花などを連続的に植えていきます。デザインは、ロボットとは思わせない外装。



## 『新居浜超機 ダイタイコー』

新居浜工業高等専門学校 機械工学科3年 阿部 輝一

新居浜と言えば、やはり太鼓台。

ロボと言えば、人型。

そこから思いついたのが、

「太鼓台から人型へ変形するロボット」

新居浜の文化を表す太鼓台が、技術を表す人型のロボットに変形する。

人型→太鼓台型の変形は、オートで行う。かけ声一つで自動的に変形。

できれば人が乗って動かしたい。空も飛べればなお良し。

人型は格好良く、足で立ち、手にはものが持てる。

太鼓台型は、細かく美しい布団α、上幕、高欄幕。天幕・ふさも装備です。

数台のダイタイコーが合体して、キングダイタイコーになるといいな。